

3 市民にわかりやすい河川の水環境指標について

【目的】

市は、これまで環境法令に基づき、生物化学的酸素要求量（BOD）を始めとした調査項目での水質監視を実施してきました。しかし、市民が求める河川環境は、そこにきれいな水が流れていることだけではないため、行政が行う専門調査では十分な河川環境の評価ができない状況となっています。

そこで、市民感覚に即した新たな河川を評価する指標「市民にわかりやすい河川の水環境指標」を作成し、平成20年度から、市民との共働調査を実施しています。この調査を行うことで、身近な水辺への環境意識を向上させていきます。

【わかりやすい水環境指標】

水環境指標を使用した調査は、容易に参加できること、地域の水辺環境の特徴を把握できることを意識し、「きれいな水」、「多様な生物」、「地域とのふれあい」をキーワードに、主に人の五感により調査できる項目を選定しています。行政が行っている市内の主要河川の水質分析を中心とした調査とはその点が大きく異なります。

各指標項目及び指標値については、下表のとおりです。

表2-12-1 共働調査に係る各指標項目の概要

区分	調査の項目	調査の内容
きれいな水	ごみの量、におい等	感覚による調査
	透視度	透視度計
	COD	市販のパックテスト
多様な生物	生き物の生息状況	感覚による調査
	アンモニア性窒素	市販のパックテスト
地域とのふれあい	景観性、水辺の近づきやすさ等	感覚による調査
水の利用性	水の量、水の質等	専門調査(行政実施)

表2-12-2 共働調査に係る指標項目と指標値

調査主体	指標項目	指標値				
		ランクA	ランクB	ランクC	ランクD	
市民との共働調査	きれいな水	ごみの量	ごみが見あたらない	ごみが目に付くが我慢できる	ごみがあつて不快	とても不快
		透視度	100cm以上	70cm以上	30cm以上	30cm未満
		COD(簡易調査)	2mg/L以下	4mg/L以下	6mg/L以下	6mg/Lを超える
		川底の感触	触れて心地よい。触れてみたい気分	触れる時に抵抗感がない	ところどころヌルヌルしている	ヌルヌルしており不快
		におい	心地よい香りを感じる	気になるにおいを感じない	少しいやなにおいを感じる	いやなにおいを強く感じる
	多様な生物	アンモニア性窒素(簡易調査)	0.2mg/L以下	0.5mg/L以下	2.0mg/L以下	2.0mg/Lを超える
		生き物の生息状況	魚が泳いでいる。水辺に鳥や昆虫など、様々な生き物がいる。	魚がいる。水辺に鳥(又は昆虫など)がいる。	魚を見たことがある。魚が生息できる。ときどき水辺に鳥(又は昆虫など)が来る。	魚が生息できない。鳥(又は昆虫など)が来ない。
地域とのふれあい	水辺への近づきやすさ	安全で容易に近づける	近づくことができる場所が多い	近づくことができる場所が少ない	近づくことができない	
	地域活動の有無	多くの住民等が清掃活動などに参加している	少数の住民等が清掃活動などに参加している	清掃活動などが行われることもある	清掃活動などは行われていない	
	住民の利用状況	日常的に多くの人が利用	一部の人が利用	利用されることもある	全く利用されていない	
	景観性	好ましい風景	比較的好ましい風景	あまり好ましい風景でない	好ましい風景でない	
専門行政の調査	水の利用性	水の量	0.5m ³ /秒以上	0.2m ³ /秒以上	0.1m ³ /秒以上	0.1m ³ /秒未満
		水の質	環境基準AA類型レベル(pH, BOD, SS, DO)	環境基準A・B類型レベル(pH, BOD, SS, DO)	環境基準C類型レベル(pH, BOD, SS, DO)	環境基準D・E類型レベル(pH, BOD, SS, ごみ, DO)

【共働調査結果】

令和4年度の調査は資材貸出も含め5河川延べ162人が調査を実施しました。
下表の指標値は、回収できた調査用紙をもとに参加者の平均値を示しています。

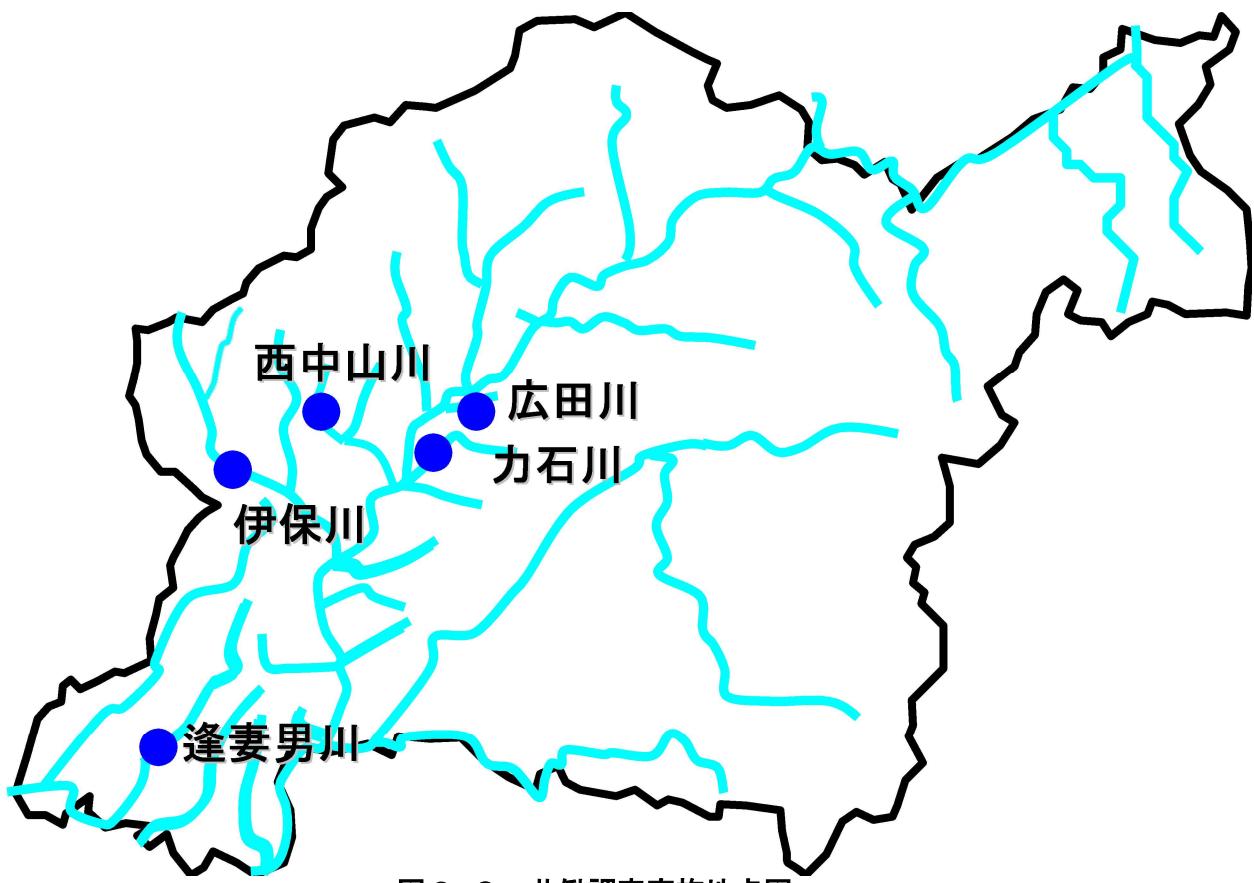


図2-3 共働調査実施地点図

表2-13 令和4年度共働調査結果

調査河川	調査団体 (参加人数 延べ人数)	調査日	きれいな 水	多様な 生物	地域との ふれあい
西中山川	西中山自治区民 39人	7月2日	A	A	B
伊保川	浄水小・浄水北小学校地域学校共働本部 48人	7月16日	B	A	B
広田川	東広瀬小学校 17人	9月21日	B	A	B
力石川	中金小学校 4人	9月29日	B	A	B
逢妻男川	若林交流館 環境保全委員、 若林西小学校 54人	10月14日	—	—	—

表2-14 参加者アンケート結果

川のイメージ	よくなつた	変わらない	未回答
	129	11	2

総回答数：142人（総参加者数：162人）

表2-15 参加者アンケート結果（川を守ろう宣言）

西中山川	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴミひろいをする！・食べのこしをへらす！ ・なるべくゴミをすべてないで 水生生物を大切にする！ ・川をよごさないようにみまもって、川にごみをすべてない！
伊保川	<ul style="list-style-type: none"> ・ポイ捨てをしない！・積極的に、川や水路の清掃活動に参加する！ ・洗剤を使い過ぎないようにする！・油は紙に吸わせてゴミとして出す！
広田川	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみを川にすべてない！・食べ残しをへらす！ ・水道水を使うときは、出しっぱなしにしない！
力石川	<ul style="list-style-type: none"> ・川にごみをすべてないこと！・ゴミをすべてないように！ ・ゴミひろいをする！
逢妻男川	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみをちゃんときまったく場所にきてる！ ・りょうりにつかった油をくふうしてきてる！ ・川を守るために『環境委員』さんのようにやる。

当日の調査の様子



西中山川



伊保川



広田川



逢妻男川